

2026 年 3 月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2025 年 11 月 14 日

上場会社名 株式会社コスモス調剤 上場取引所 東
コード番号 309A URL <https://www.cosmos-ph.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 宏典
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 南川 知也 (TEL) 052(561)2255
中間発行情報提出予定日 2025 年 12 月 19 日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026 年 3 月期中間期の連結業績 (2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026 年 3 月期中間期	3,181	5.4	84	△38.4	88	△42.4	58	△16.4
2025 年 3 月期中間期	3,018	—	136	—	153	—	69	—

(注) 包括利益 2026 年 3 月期中間期 58 百万円 (△16.4%) 2025 年 3 月期中間期 69 百万円 (—%)

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026 年 3 月期中間期	19.29	—
2025 年 3 月期中間期	23.08	—

(注) 1. 当社は、2024 年 10 月 17 日付で普通株式 1 株につき 5,000 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり中間純利益」を算定しております。

2. 潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026 年 3 月期中間期	3,456	1,057	30.6
2025 年 3 月期	3,418	1,069	31.3

(参考) 自己資本 2026 年 3 月期中間期 1,057 百万円 2025 年 3 月期 1,069 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025 年 3 月期	0.00	23.00	23.00
2026 年 3 月期	0.00		
2026 年 3 月期(予想)		23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025 年 3 月期配当金の内訳 普通配当 17 円 記念配当 6 円 (上場記念配当)

3. 2026 年 3 月期の連結業績予想成績 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,552	4.1	309	23.3	301	10.6	191	37.7	63.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026 年 3 月期 中間期	3, 025, 000 株	2025 年 3 月期	3, 025, 000 株
2026 年 3 月期 中間期	一株	2025 年 3 月期	一株
2026 年 3 月期 中間期	3, 025, 000 株	2025 年 3 月期 中間期	3, 025, 000 株

(注) 当社は、2024 年 10 月 17 日付で普通株式 1 株につき 5, 000 株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数 (中間期)」を算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外であります

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)における我が国経済は、緩やかに回復しており、今後も雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が景気を支えることが期待されますが、米国の通商政策の動向、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響、金融資本市場の変動等の影響により、先行きには不透明感が残る状況が継続しております。

調剤薬局業界においては、高齢化社会の進展により業績の基礎となる処方箋応需枚数は堅調に推移している傾向にあるものの、調剤報酬および薬価改定の影響、厳しい状況が続く採用環境や、物価上昇への対応としての人件費の増大など、採算面での課題が増加しております。

このような状況の中、当社は「患者様とクリニックの懸け橋として、健康と安心に貢献するマザーカンパニーを目指します」という経営理念のもと、地域社会でのつながりを深め、患者様とクリニックの懸け橋として地域医療体制の安定と向上に貢献するため引き続き、新規出店に向けた活動、在宅・施設調剤の拡大、電子処方箋システムやお薬手帳アプリの活用推進等のデジタル化による患者様の利便性向上、国が推進する医療DXサービスの実現などに取り組みました。また、積極的な機械化による患者様への迅速かつ正確な医薬品の提供、および薬局薬剤師の生産性向上と労働環境改善なども継続しております。

当中間連結会計期間年度における出店状況については、新規開局により 4 店舗が増加し、閉局により 2 店舗が減少したことにより、当中間連結会計期間末時点での店舗数は、前期末と比較して 2 店舗増加となる、計 55 店舗となりました。

この結果、当中間連結会計期間の当社グループの連結業績は、売上高 3,181 百万円、営業利益 84 百万円、経常利益 88 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は 58 百万円となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは調剤薬局関連事業の単一セグメントですので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ 38 百万円増加し、3,456 百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少 96 百万円、商品及び製品の増加 87 百万円、建物及び構築物の増加 33 百万円等があったことによるものであります。

(負債)

前連結会計年度末に比べ 49 百万円増加し、2,398 百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加 91 百万円、長期借入金の減少 45 百万円等があったことによるものであります。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ 11 百万円減少し、1,057 百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことに伴い利益剰余金が 58 百万円増加した一方、剰余金の配当に伴い利益剰余金が 69 百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026 年 3 月期における連結の業績予想につきましては、2025 年 5 月 15 日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025 年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025 年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	681	584
売掛金	33	32
商品及び製品	357	445
未収入金	905	935
その他	34	46
流動資産合計	2,012	2,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	431	464
工具、器具及び備品(純額)	77	104
土地	267	267
建設仮勘定	25	—
その他	0	0
有形固定資産合計	802	837
無形固定資産		
のれん	256	238
その他	31	30
無形固定資産合計	288	268
投資その他の資産		
長期貸付金	12	10
繰延税金資産	81	81
その他	220	213
投資その他の資産合計	314	305
固定資産合計	1,405	1,412
資産合計	3,418	3,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025 年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025 年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	727	819
短期借入金	30	30
1 年内返済予定の長期借入金	82	72
未払法人税等	64	37
賞与引当金	110	118
その他	213	235
流動負債合計	1, 228	1, 313
固定負債		
長期借入金	700	655
退職給付に係る負債	9	11
役員退職慰労引当金	289	295
資産除去債務	119	122
その他	0	0
固定負債合計	1, 120	1, 084
負債合計	2, 348	2, 398
純資産の部		
株主資本		
資本金	30	30
資本剰余金	434	434
利益剰余金	604	593
株主資本合計	1, 069	1, 057
純資産合計	1, 069	1, 057
負債純資産合計	3, 418	3, 456

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024 年 4 月 1 日 至 2024 年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025 年 4 月 1 日 至 2025 年 9 月 30 日)
売上高	3,018	3,181
売上原価	1,661	1,757
売上総利益	1,357	1,424
販売費及び一般管理費	1,220	1,339
営業利益	136	84
営業外収益		
補助金収入	18	10
その他	1	2
営業外収益合計	20	13
営業外費用		
支払利息	3	4
補助金返還額	—	4
営業外費用合計	3	9
経常利益	153	88
特別利益		
固定資産売却益	0	9
特別利益合計	0	9
特別損失		
減損損失	11	—
解約違約金	5	—
関係会社清算損	—	1
その他	—	0
特別損失合計	17	1
税金等調整前中間純利益	136	95
法人税等	66	37
中間純利益	69	58
親会社株主に帰属する中間純利益	69	58

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024 年 4 月 1 日 至 2024 年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025 年 4 月 1 日 至 2025 年 9 月 30 日)
中間純利益	69	58
中間包括利益 (内訳)	69	58
親会社株主に係る中間包括利益	69	58

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

当社及び連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは調剤薬局関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。